

4/17 早稿

県内高齢者接種 8月終了

ワクチン供給順調なら

杉本達治知事は十六日、定例会見し、六十五歳以上の高齢者に対する新型コロナウイルスのワクチン接種について、国からのワクチ

ン供給が順調なら、県内の全高齢者への接種が八月ごろに終了する見込みだと述べた。

対象となるのは、県内の高齢者二十三万人に入所施設の職員らを加えた二十四万人。国は、全高齢者が二回接種できる量を六月中に全国各地に供給するとして

いて、杉本知事は「ワクチ

ンが入荷できれば、八月ぐら

いに県内高齢者への接種

がだいたい終わる」と話した。

六十五歳への接種は十二

日から、十七市町ごとに高

齢者施設の入所者、職員ら

四千七百人への「モデル接

種」として順次開始していく。

今後、他の高齢者施設

に対象を広げ、一般高齢者

にも接種していく。

一方、先行して三月五日から始めている医療従事者

三万四千人への接種につい

ては、必要量の六万八千回分のうち終了したのは一万一千五百回分(18%)にとどまっている、とした。国

からのワクチン供給が少ないためといつ。

県によると、医療従事者全員の接種に必要な残りのワクチンは五月十日の週までに国から届く見通し。こ

のため医療従事者への接種は五月末におおむね終わる見通し。

(尾嶋隆宏)